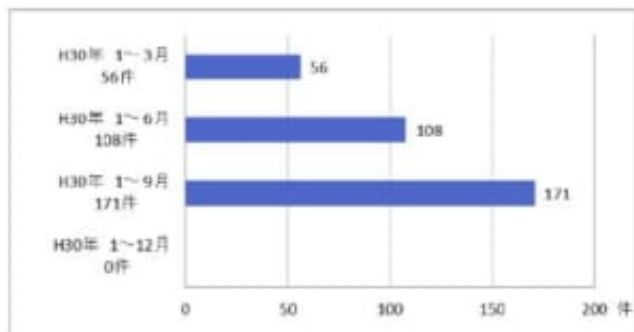


## 全ト協、1-9月のトラック死亡事故、目標未達ペース

Edited By LogisticsToday On 2018/12/06



(出所：全日本トラック協会)

全日本トラック協会（全ト協）は6日、事業用大型・中型・普通トラックが第一当事者となった1-9月の交通事故統計の分析結果を公表した。

営業用トラックが第1当事者となった死亡事故件数は171件で、1万台あたりの死亡事故件数は「1.7」となった。全ト協が「トラック事業における総合安全プラン2020」で目標に掲げている「1.5」を達成するために、「事故防止対策が急務」だとしている。

都道府県別の事故発生件数では、埼玉県が最も多く16件、次いで大阪府13件、愛知県12件、東京都11件、静岡県10件と続いている。

車両区分で傾向を見ると、大型が97件（56.7%）と6割近くを占め、次いで中型が44件（25.7%）、準中型25件（14.6%）、普通5件（2.9%）となった。

### ■分析結果全文

[http://www.jta.or.jp/kotsuanzen/jiko/ITARDA\\_H3001\\_09.pdf](http://www.jta.or.jp/kotsuanzen/jiko/ITARDA_H3001_09.pdf)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/332167>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.